

公民館だより Toyosato

昔の生活や仕事の様子を学ぶ 市内5小学校が連日来館



米山東小学校 1/23

佐沼小学校 1/24



柳津小学校 1/25

豊里小学校 1/26



横山小学校 1/31

学習館正面



豊里コミュニティ推進協議会
豊里公民館広報
3月号
平成29年3月1日発行

平筒沼農村文化自然学習館(以下『学習館』)は、平筒沼の南側にある生涯学習施設です。

民俗資料展示室には、昔の生活民具や農具などを常設展示しており、いにしえの生活の様子が実感できる貴重な文化財です。

また、宮城県指定有形民俗文化財『竈神』を20面展示しており、火を象徴化した塑像を神としてまつる、この地方独特の民間信仰に興味を抱き、遠く県外からの多くの来館者もいます。

こうした貴重な民俗資料が生きた教材となっており、市内外の小・中学校が見学に訪れ、その機会も年々増加しています。

1月23日からは、市内の

市内5小学校来館日程

- 1月23日(月) 米山東小学校
- 1月24日(火) 佐沼小学校
- 1月25日(水) 柳津小学校
- 1月26日(木) 豊里小学校
- 1月31日(火) 横山小学校

5つの小学校3学年の児童が社会科の授業で連日のように学習館を訪れました。

子ども達からは、見たこともない珍しい生活民具や農具に質問が続出。質問の内容は、いつ頃使われたものか。何のために使っていたのか。何で作られているのかなどの疑問が多かったようです。学習館の係員の説明や実演等に感心したり、展示資料のスケッチをしたり、メモを取るなど、熱心に学んでいました。

また竈神は、初めて見る子どもが大部分で、一つ一つ違う表情の迫力にびっくりした様子。是非また来たいとの声も聞かれました。



一つ一つ表情の違う竈神を展示

平筒沼農村文化自然学習館

4年ぶりの『お色直し』 ～外壁等塗装工事始まる～



り、今回の工事は4年ぶりの「お色直し」となります。工期は2月15日まで、

貴重な民俗資料館にふさわしい端麗な建物がお目見えします。



着々と進む学習館改修工事

豊里が舞台、竈神と町おこしがテーマ 夢フェスタ市民劇 4日と5日開演

夢フェスタ水の里は、登米市の文化・歴史・人物などを市民手づくりの舞台公演を通じて、市民に広く紹介する地域おこし事業です。

市内9町が毎年持ち回りで題材地を設定し、創作劇上演。平成11年に第1回公演がスタートし、今年で19回を数える歴史あるイベントです。

今年は豊里が舞台で、竈神様の啓示による町おこしがテーマの必見の市民劇です。当日は、豊里の夏の風物詩『YOSAKOI&ねねた』や県重要文化財指定『上町法印神樂』も登場。実物の竈神や古い豊里の写真などの展示コーナーもあり、イベントを盛り上げます。是非ご覧下さい。

◎公演日時 3月4日(土)18:00 3月5日(日)13:30

◎会場 登米祝祭劇場

◎前売券 大人 1,000円 小中高生 500円

すばらしい作品です。前売り券 残りわずか お急ぎ下さい。

お求め、お問い合わせは公民館(76-2237)へ



八場整理券発行開始～お早めにお求め下さい～

『田辺寄席』上方落語会 26日開演

お笑いの本場から「出前寄席」がやって来る！

豊里コミュニティ推進協議会、地域づくり委員会では、上方落語会『田辺寄席』を企画しました。『田辺寄席』は大阪で人気の地域寄席で、42年も続く由緒ある名物落語会です。

今回は、この落語会を主宰する桂文太師匠が上方の若手落語家を引き連れ、豊里公民館にやって来ます。文太師匠の円熟の名人芸と気鋭の若手落語家さん達の切れの良い面白噺をお楽しみ下さい。

◎日時 3月26日(日) 12:30 開場 13:00 開演

◎会場 豊里公民館中ホール

◎入場無料 定員250名(全席自由、整理券が必要です)

◎出演 桂文太(五代目桂文枝門下)

林家染左(四代目林家染丸門下)

露の紫(露の都門下) 桂小きん(桂きん枝門下)

三味線 佐々木千華



整理券のお求め、お問合せは公民館(76-2237)へ

3月の公民館行事

月	日	行 事 内 容	場 所
3月12日(日)		囲碁・将棋サークル(10:00～)	公民館和室
3月18日(土)		子どもお菓子作り教室	多目的研修センター
3月18日(土)		東北風土マラソン けの出店	迫町長沼
3月26日(日)		上方落語会(13:00～)	公民館中ホール

編 集 後 記

先日、次年度の事業に向けて地域づくり委員会が開かれ、すばらしいアイデアが数多く提案され、とてもうれしく思いました。

公民館行事も工夫をこらし、さらに充実した事業を考えています。(佐々木)

3B体操 無料体験会のお知らせ

3B体操は、用具を使って誰でもできる楽しい体操です。用具は、ボール・ベル・ベルター(3B)で、遊びの要素を取り入れ、気軽に、体に無理なく、音楽に合わせて楽しみながら運動ができます。

この3B体操は、公益社団法人日本3B体操協会宮城県支部の主催により、次のとおり無料体験会を実施します。

どうぞお気軽にご参加ください。

◎日 時 3月17日(金) 10時から

◎場 所 公民館中ホール

◎対 象 大人の方ならどなたでも参加できます

◎問合先 公認指導者 佐藤由美子(090-1837-1308)



大好きなラーメン、餃子に挑戦 ～リトルシェフ(子ども料理教室)閉講～



1月28日、多目的研修センター調理室において、第3回リトルシェフ(子ども料理教室)を開催しました。

今回のメニューは、子どもたちが大好きなラーメンと餃子で、21名の受講生全員が参加しました。

最初に餃子作りに挑戦。各自で餃子のタネを作り、皮に包む作業を行いました。参加者の中には、この作業の経験者も多く、初めての人に教えながら進める子も見られました。

タネが完成し、フライパンで焼くときには、火加減

に注意しながら慎重に火を通すと、香ばしく仕上りました。

次にラーメンの調理です。硬さを見ながら麺を大鍋でゆでていきます。ゆであがった麺を焼豚と刻みネギを加え、作っておいた醤油ベースのスープに投入すると、おいしそうな特製ラーメン



みんなが大好きなラーメンが完成

が完成。

試食タイムでは、ラーメンも餃子も味良くて、子どもたちは大満足の様子。

和食、洋食、中華と3回のジャンルを体験し、充実の教室を終えました。



充実の教室を終えたリトルシェフたち

楽しい交流で頑力向上

～囲碁・将棋サークルのつどい開催～



2月12日(日)、公民館和室において、第4回囲碁・将棋サークルの集いを開催しました。

この集いは月1回開催していますが、サークルの皆さんには、もっと交流を深めたいとして、自主的に公民館に来館。大いに楽しんでいます。

今回は、小学生2人を含む9名が参加。早速対局を始め、相手を変えながら交流を深めました。

参加者の皆さんには、対局よりも会話が楽しい様子。もっと回数を増やしたり、多くの仲間を作り、みんなと一緒に楽しんでいきたいとの声が聞かれました。

花器に合ったいけ方を工夫 第5回学習会

自由花『春』をいける

～いけばな教室 好評のうちに閉講～



2月16日、平筒沼農村文化自然学習館研修室において、いけばな教室第5回学習会を開催しました。

今回は、13名の皆さんに参加して、その人の感性が表れる自由花に挑戦です。

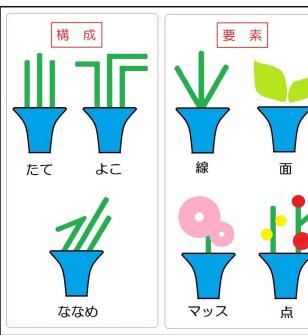
テーマは『春をいける』

で、「雪柳、菜の花、レモンリーフ」を共通の花材、「チューリップ・カーネーション」のタイプと「ガーベラ・スイトピー」のタイプ2種類から好みの物を選んでいけています。

花材の選び方は、①飾る

場所を考え、②中心(ポイント)となる花材を一つ決めて、③全体のイメージを考えるという大切なポイントを学びました。

また今回、高橋先生から、すべて違うタイプの花器を用意していただき、自由花の構成や要素をを考えながら、花器に合ったいけ方を工夫して取り組みました。その結果、花器の違いや花材の扱いで、全く違うでき



ばえに、いけばなの奥深さを改めて認識した様子。

皆さん満足の、充実した今年度の学習を終えました。



『春到来』を感じさせる すばらしい生け花(自由花)の作品群

東北風土マラソン & フェスティバル

登米市の長沼湖畔で行われるイベント。マラソンは、フル、ハーフ、親子ランなど多彩で、給水所で支給される地元グルメやドリンクを味わいながら走るファンラン大会。

フェスティバルは、登米のフードや東北日本酒、被災地復興見学ツアーなど、さまざまな楽しみが満喫できるお祭りである。



けの汁、東北風土フェスティバルに登場



の2日間にわたって、迫町の長沼湖畔で開催されます。

会場には、たくさんの地元グルメの出店ブースが軒を連ね、大いに賑わいます。

当町から、豊里の世界遺

産、伝承郷土料理『けの汁』の出店が決定。二ツ屋の皆さんには腕によりをかけ、19日に満を持して登場します。

このイベントに足を運び、味比べをしてみて下さい。



豊富な食材で笑顔の調理 ニツ屋の皆さん

とよさとの 己間国宝 世界遺産



とよさとの 己間国宝

米の新品種『沢潤』を開発
板倉景介さん(庚申)

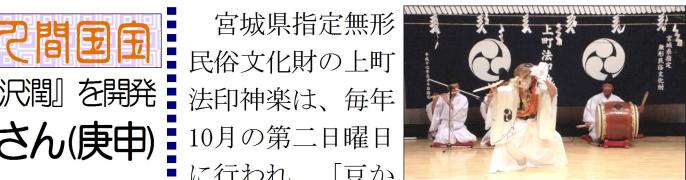
板倉景介さんは、昭和11年1月7日生まれの81歳。温厚篤実で、研究熱心な方です。

平成20年7月、板倉さんは、自分の田んぼで黄色に色づく3本の稲穂を見つけ、早生になるのではとその種粒を採取。根気と努力が実り、育種に成功したその苗は、新

品種であると証明されるまで実に7年の歳月を要し、平成26年、農林水産大臣の育苗登録品種登録第23394号に認定されました。この快挙は河北新報でも報道されました。

この新品種の愛称は『沢潤』。極早生で8月中旬には収穫期を迎えます。味はもちりして食べやすいのが特徴です。

板倉さんは、広く植えてほしいので希望者には種粒を提供したいと話しています。



宮城県指定無形民俗文化財の上町法印神楽は、毎年10月の第二日曜日に行われ、「豆かららさん」で親しまれる稻荷神社の例大祭に奉納されており、350年の歴史があります。

法印神楽は、出羽三山等の靈山で修行する山伏などによって伝えられたもので、上町法印神楽もその一つと考えられています。

とよさとの 県指定無形民俗文化財 上町法印神楽

上町法印神楽は、神話などを題材に、カシナギというせりふを胴取りと呼ばれる太鼓打ちが神歌を唱え、笛が曲調を奏でます。

長い歴史のこの神楽が脈々と受け継がれてきたのは、関係者の並々ならぬ努力の賜物です。



例大祭を主祭する稻荷神社

豊里が誇るすばらしい人物や場所を発掘し、顕彰する、その名も大きく『豊里の人間国宝と世界遺産』。

今回、人間国宝には、根気と研究熱心により、米の新品種、極早生【沢潤】を開発した庚申の板倉景介さん。世界遺産には、勇壮・華麗な舞で知られる宮城県指定無形民俗文化財『上町法印神楽』の登場です。

あなたの周りの凄い人や珍しい行事・文化、ここぞと思う場所を推薦して下さい。取材に伺います。

TOMO塾とは 地域づくりを担う公民館職員や集落支援員が、その基礎知識と実践方法を習得し、協働のまちづくりを推進することを目的に実施する市の事業。

1月26日、第12回TOMO塾が開講式を兼ねて中田町の生涯学習センターで開催され、当公民館からも3名出席しました。

この塾は、地域づくりの課題を決め、第1班は定住・移住、第2班は地域資源・仕事、第3班は災害対策、第4班はコミュニケーション、第5班は高齢者・後継者というテーマに別れて昨年7月から検討開始。今回は成果報告会として、それぞれ

班ごとに発表しました。質疑・応答の後、塾アドバイザー吉田聰子氏の総評

地域づくり人材育成事業

TOMO塾 多くの成果あげ開講



があり、閉講式になりましたが、各班とも多くの成果を得た充実の7ヵ月でした。